

## 授業科目：看護教育・管理学特論Ⅰ（2単位）

学習目標：看護教育学の歴史や制度、看護教育学の課程と評価の考え方、生涯教育の概念と方法、看護教育学に有用な研究方法などについて理解させる。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.4.17	月	6	看護教育学の歴史及び制度論	橋本和子	基礎看護学講座・基礎看護学共同研究室（3階）
2	〃	〃	7	看護教育学課程論及び技術論	〃	
3	4.24	〃	6	看護教育学課程の評価論	〃	
4	〃	〃	7	看護教育学組織の運営論	〃	
5	5.8	〃	6	生涯教育の概念と方法論	高橋永子	
6	〃	〃	7	実習指導者教育の開発	〃	
7	5.15	〃	6	看護教育学の研究論	森木妙子	
8	〃	〃	7	〃	〃	
9	5.22	〃	6	看護教育方法論Ⅰ	藤田倫子	
10	〃	〃	7	看護教育方法論Ⅱ	〃	
11	5.29	〃	6	看護学実習指導論	〃	
12	〃	〃	7	〃	〃	
13	6.5	〃	6	看護学実習評価論	〃	
14	〃	〃	7	〃	〃	
15	6.12	〃	6	総括	橋本和子 藤田倫子	

## 授業科目：看護教育・管理学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：看護管理の考え方と看護組織のあり方、看護機能の評価と業務分析、  
リスクマネジメント、災害看護管理、看護管理と看護倫理などについて理解を深める。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.4.18	火	6	看護管理の考え方と歴史	橋本和子	基礎看護学講座・基礎看護学共同研究室（3階）
2	〃	〃	7	看護組織とその管理	〃	
3	4.25	〃	6	看護管理の過程 看護管理者に必要なスキル	〃	
4	〃	〃	7	看護管理の機能と評価	〃	
5	5.9	〃	6	看護業務管理	〃	
6	〃	〃	7	在宅ケアの社会資源及び看護管理	森木妙子	
7	5.16	〃	6	看護ケアの質	〃	
8	〃	〃	7	〃	〃	
9	5.23	〃	6	看護経済	〃	
10	〃	〃	7	リスクマネジメント	高橋永子	
11	5.30	〃	6	災害看護管理	〃	
12	〃	〃	7	看護管理と看護倫理	〃	
13	6.6	〃	6	看護実践現場の現状・対応	〃	
14	〃	〃	7	これからの看護実践現場のあり方	〃	
15	6.13	〃	6	総括	橋本和子 高橋永子 森木妙子	

## 授業科目：看護教育・管理学演習（2単位）（1）

学習目標：看護教育学における課題について議論を深め、問題解決型の演習を行うと共に、研究方法を構築する。

（演習は指導教員別を実施する。但し、講義の進行度により日程変更の可能性がある。）

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	18.10.4	水	6・7	看護教育学の現状分析と課題の探求	橋本和子 藤田倫子 高橋永子 森木妙子	基礎看護学共同研究室（3階） 又は成人看護学共同研究室（7階）
3・4	10.11	〃	〃	〃	〃	
5・6	10.18	〃	〃	生涯教育の現状分析と課題の探求	〃	
7・8	10.25	〃	〃	〃	〃	
9・10	11.1	〃	〃	実習指導者教育の現状分析と課題の探求	〃	
11・12	11.8	〃	〃	〃	〃	
13・14	11.15	〃	〃	在宅看護管理教育の現状分析と課題の探求	〃	
15・16	11.22	〃	〃	〃	〃	
17・18	11.29	〃	〃	関連テーマからの仮説及び検証	〃	
19・20	12.6	〃	〃	〃	〃	
21・22	12.13	〃	〃	関連トピックス	〃	
23・24	12.20	〃	〃	〃	〃	
25・26	19.1.10	〃	〃	〃	〃	
27・28	1.17	〃	〃	〃	〃	
29・30	1.24	〃	〃	総括	〃	

## 授業科目：看護教育・管理学演習（2）

学習目標：看護管理学分野の課題に関連する国内外の文献を講読し、課題について議論を深め、研究方法を構築する。（演習は指導教員別を実施する。）

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	18.10.4	水	6・7	看護管理の課題	橋本和子 高橋永子 森木妙子	基礎看護学講座・基礎看護学共同研究室（3階）
3・4	10.11	〃	〃	〃	〃	
5・6	10.18	〃	〃	課題テーマの背景	〃	
7・8	10.25	〃	〃	〃	〃	
9・10	11.1	〃	〃	課題テーマに関連した先行研究及びテーマに関連した情報分析	〃	
11・12	11.8	〃	〃	〃	〃	
13・14	11.15	〃	〃	看護管理関連トピックス	〃	
15・16	11.22	〃	〃	〃	〃	
17・18	11.29	〃	〃	課題テーマに関連した実態報告	〃	
19・20	12.6	〃	〃	〃	〃	
21・22	12.13	〃	〃	関連テーマからの仮説及び検証の可能性	〃	
23・24	12.20	〃	〃	〃	〃	
25・26	19.1.10	〃	〃	関連トピックス	〃	
27・28	1.17	〃	〃	〃	〃	
29・30	1.24	〃	〃	総括	〃	

## 授業科目：医療情報処理演習（2単位）

学習目標：看護教育・看護管理・看護研究に必要な情報処理手法を修得する。

医療情報システムの特徴を理解する。

医療情報データベースの特徴を理解し、活用方法を修得する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1, 2	18.10.6	金	6・7	病院情報システムの特徴	栗原幸男	基礎看護学講座・基礎看護学共同研究室（3階）
3, 4	18.10.13	〃	〃	〃	〃	
5, 6	18.10.20	〃	〃	医療データベースの特徴	〃	
7, 8	18.10.27	〃	〃	〃	〃	
9, 10	18.11.10	〃	〃	医療データベースの活用方法	〃	
11, 12	18.11.17	〃	〃	〃	〃	
13, 14	18.11.24	〃	〃	医療データベースの看護教育・看護管理への活用	〃	
15, 16	18.12.1	〃	〃	〃	〃	
17, 18	18.12.8	〃	〃	〃	〃	
19, 20	18.12.15	〃	〃	〃	〃	
21, 22	18.12.22	〃	〃	〃	〃	
23, 24	19.1.12	〃	〃	看護研究における情報処理手法	〃	
25, 26	19.1.19	〃	〃	〃	〃	
27, 28	19.1.26	〃	〃	〃	〃	
29, 30	19.2.2	〃	〃	総括	〃	

## 授業科目：母子看護学特論Ⅰ（2単位）

学習目標：あらゆる世代の女性の健康生活向上にむけて人々に寄り添い支援できる母子看護職者をめざし研究活動を自立して展開できるようになることを目標とする

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.4.19	水	6	母性看護学の対象者	千浦淑子	ゼミ室6 (5階)
2	〃	〃	7	女性の歴史と人権	〃	
3	4.26	〃	6	妊娠・分娩・育児の概念	〃	
4	〃	〃	7	女性の身体・精神のとらえ方	〃	
5	5.10	〃	6	母と女と家族の認知	〃	
6	〃	〃	7	助産師という仕事と意義	〃	
7	5.17	〃	6	セクシャリティ・人々と性行動	〃	
8	〃	〃	7	ジェンダーの観点で母子看護学を考える	〃	
9	5.24	〃	6	父性と心理・社会的欲求	〃	
10	〃	〃	7	父性と生涯発達	〃	
11	5.31	〃	6	父性と心の問題	〃	
12	〃	〃	7	育児と心の問題	〃	
13	6.7	〃	6	Parenting 学における心理的ケアの理論	〃	
14	〃	〃	7	Parenting 学における心理的ケアと技術	〃	
15	8.2	〃	6	まとめ	〃	

## 授業科目：母子看護学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：子どもの生活におけるQOLの向上を目指した看護のための基礎的検討として、病む子どもに対する自律や自己決定について考える。また、子どもの療養における諸症状や反応について検討し、セルフケア指導における課題の抽出や倫理等について理解を深める。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.4.21	金	6	Current topics in pediatric nursing	植田侖佐	臨床看護学講座・小児看護学共同研究室（5階）
2	4.28	〃	〃	〃	〃	
3	5.12	〃	〃	小児看護学概説	尾原喜美子	
4	5.19	〃	〃	Current topics in pediatric nursing	植田侖佐	
5	5.26	〃	〃	母と子のきずな	(宮井千恵)	
6	6. 2	〃	〃	Current topics in pediatric nursing	植田侖佐	
7	6. 9	〃	〃	子どもの成長と発達	尾原喜美子	
8	6.16	〃	〃	Current topics in pediatric nursing	植田侖佐	
9	6.23	〃	〃	〃	〃	
10	6.30	〃	〃	〃	〃	
11	7. 7	〃	〃	子どもと家族の看護	(武市光世)	
12	7.14	〃	〃	Current topics in pediatric nursing	植田侖佐	
13	7.21	〃	〃	〃	〃	
14	7.28	〃	〃	〃	〃	
15	9. 1	〃	〃	家族看護	尾原喜美子	
16	9. 8	〃	〃	Current topics in pediatric nursing	植田侖佐	
17	9.15	〃	〃	〃	〃	

## 授業科目：母子看護学演習（4単位）（1）

学習目標：母子看護に関する特論に示したテーマの研究や重要課題について文献レビューとクリティーク、フィールドワークをし、自ら問題を展開する思考を養い、批判力及び研究を実践するための基本的能力を培う。

講義回数	年月日	曜日	時限	テ　　マ	担当教員	場所
1	18.10.3	火	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	臨床看護学講座・小児看護学共同研究室（5階）
2	. "	"	7	小児看護に関する研究の動向と課題	尾原喜美子	
3	10.10	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
4	. "	"	7	小児看護に関する研究の動向と課題	尾原喜美子	
5	10.17	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
6	. "	"	7	小児看護に関する研究課題の検討	尾原喜美子	
7	10.24	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
8	. "	"	7	小児看護に関する研究課題の検討	尾原喜美子	
9	10.31	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
10	. "	"	7	小児看護に関する研究論文のクリティーク	尾原喜美子	
11	11. 7	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
12	. "	"	7	小児看護に関する研究論文のクリティーク	尾原喜美子	
13	11.14	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
14	. "	"	7	看護研究方法の検討	尾原喜美子	
15	11.21	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
16	. "	"	7	看護研究方法の検討	尾原喜美子	
17	11.28	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
18	. "	"	7	看護研究方法の検討	尾原喜美子	
19	12. 5	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
20	. "	"	7	看護研究方法の実際	尾原喜美子	
21	12.12	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
22	. "	"	7	看護研究方法の実際	尾原喜美子	
23	12.19	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
24	. "	"	7	データ分析の実際	尾原喜美子	
25	18.1. 9	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
26	. "	"	7	データ分析の実際	尾原喜美子	
27	1.16	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
28	. "	"	7	看護研究の倫理	尾原喜美子	
29	1.23	"	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田侖佐	
30	. "	"	7	看護研究の倫理	尾原喜美子	

## 授業科目：母子看護学演習（2）

学習目標：母子看護の課題をとりあげ論議し、深めていく中で研究テーマを自ら発見できることを目標とする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.10.5	木	6,7	分娩力と女性の活動	千浦淑子	ゼミ室6 (5階)
2	10.12	〃	〃	育児力と社会環境	〃	
3	10.19	〃	〃	母乳哺育を研究する場合	〃	
4	10.26	〃	〃	周産期の異常妊産婦	〃	
5	11. 2	〃	〃	性行動と性感染症	〃	
6	11. 9	〃	〃	母性と女性としての成熟	〃	
7	11.16	〃	〃	不妊と女性・母性看護学研究	〃	
8	11.30	〃	〃	HIV/AIDS 感染の動向（世界・国内）	〃	
9	12. 7	〃	〃	母性と父性と HIV/AIDS	〃	
10	12.14	〃	〃	HIV/AIDS 感染における心理的ケア	〃	
11	12.21	〃	〃	母性の病気と精神（心の）看護の研究及び課題	〃	
12	18.1.11	〃	〃	母子関係における精神（心の）看護の研究及び課題	〃	
13	1.18	〃	〃	夫婦関係における精神（心の）看護の研究及び課題	〃	
14	1.25	〃	〃	母性と家族における精神（心の）看護の研究及び課題	〃	
15	2.1	〃	〃	女性と父性と家族の生涯発達に関する研究及び課題	〃	

## 授業科目：成人・老人看護学特論Ⅰ（2単位）

- 学習目標：1) ノーマライゼーション (Normalization) に基盤を置き、利用者主体の病院・施設及び地域・在宅看護について学ぶ。
- 2) 環境（生活習慣）及び遺伝と健康について理解する。
- 3) 成人・老年期における健康障害と介護保険の現状について学習し、介護予防のあり方について考える。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.4.21	金	7	生涯発達と看護	軸丸清子	地域看護学講座・地域看護学共同研究室(4階)
2	4.28	〃	〃	サクセスフル・エイジング (Successful Aging)	〃	
3	5.12	〃	〃	生活習慣と健康(1)	高尾俊弘	
4	5.19	〃	〃	健康と環境と遺伝(1)	吾妻 健	
5	5.26	〃	〃	健康と環境と遺伝(2)	〃	
6	6.2	〃	〃	生活習慣と健康(2)	高尾俊弘	
7	6.9	〃	〃	生活習慣と健康(3)	〃	
8	6.16	〃	〃	健康と環境と遺伝(3)	吾妻 健	
9	6.23	〃	〃	生活習慣と健康(4)	高尾俊弘	
10	6.30	〃	〃	健康と環境と遺伝(4)	吾妻 健	
11	7.7	〃	〃	継続看護(1)	豊田澄子	
12	7.14	〃	〃	継続看護(2)	〃	
13	7.21	〃	〃	継続看護(3)	〃	
14	7.28	〃	〃	生涯発達看護援助論	軸丸清子	
15	8.4	〃	〃	まとめ	〃	

## 授業科目：成人・老人看護学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：高齢者施設及び地域で治療あるいは療養する成人・高齢者を対象にして、その家族への援助を含めて QOL を維持、向上するための支援について、施策とケアの側面から教授し、健康を障害した高齢者が社会で共生できるためのシステムの構築について議論します。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	18.6.14	水	6・7	Current topics in elderly life	植田味佐	1・2回以外は、 老年看護学共同研究室 (6階)
3・4	6.21	〃	〃	高齢者の機能評価（1）身体	片岡万里	
5・6	6.28	〃	〃	高齢者の機能評価（2）心理・精神	〃	
7・8	7.5	〃	〃	高齢者の機能評価（3）文化・社会	〃	
9・10	7.12	〃	〃	高齢者のためのその福祉施策と社会的資源	〃	
11・12	7.19	〃	〃	高齢者と家族（1）障害のある高齢者をもつ家族の実態と課題	〃	
13・14	7.26	〃	〃	高齢者と家族（2）障害のある高齢者をもつ家族の支援	〃	
15	8.2	〃	7	Presentation	〃	

### テキスト

Ebersole H. & Hess Patricia. *Toward Healthy Aging*. Mosby, Tokyo, 1998（片岡）

## 授業科目：成人・老人看護学演習（1）（4単位）

学習目標：本科目では、人間・健康・環境・看護に関するグローバルな検討及び思索を行い、専門看護職者としての地域・在宅ケアに関する職能の向上に寄与する。演習では地域で生活する人々への看護支援のあり方について文献講読及び事例検討を行い、看護実践場面における問題解決能力・マネジメント能力を拡充させる。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	18.10.4	水	6・7	文献講読・事例検討（1）	吾妻 健	看護学科棟 4階・地域在宅看護学 共同研究室
3・4	10.11	〃	〃	文献講読・事例検討（2）	〃	
5・6	10.18	〃	〃	文献講読・事例検討（3）	〃	
7・8	10.25	〃	〃	プレゼンテーション	〃	
9・10	11. 1	〃	〃	文献講読・事例検討（4）	高尾俊弘	
11・12	11. 8	〃	〃	文献講読・事例検討（5）	〃	
13・14	11.15	〃	〃	文献講読・事例検討（6）	〃	
15・16	11.22	〃	〃	プレゼンテーション	〃	
17・18	11.29	〃	〃	文献講読・事例検討（7）	豊田澄子	
19・20	12. 6	〃	〃	文献講読・事例検討（8）	〃	
21・22	12.13	〃	〃	プレゼンテーション	〃	
23・24	12.20	〃	〃	文献講読・事例検討（9）	軸丸清子	
25・26	19.1.10	〃	〃	文献講読・事例検討（10）	〃	
27・28	1.17	〃	〃	文献講読・事例検討（11）	〃	
29・30	1.24	〃	〃	プレゼンテーション・総括	〃	

## 授業科目：成人・老人看護学演習（2）（4単位）

学習目標：特論で得た、高齢者施設及び地域で治療あるいは療養する成人・高齢者とその家族のQOLを高める施策と看護の側面から支援に関する知識を活用して、文献の講読及び批評を行う。また、これらの知識を施設及び地域の実践の場で展開し、実践能力を養う。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	18.10.4	水	6・7	高齢者をもつ家族 family caregiver に関する文献講読（1）	片岡万里	実習以外は、老年看護学共同研究室（6階）
3・4	10.11	〃	〃	高齢者をもつ家族 family caregiver に関する文献講読（2）	〃	
5・6	10.18	〃	〃	高齢者をもつ家族 family caregiver に関する文献講読（3）	〃	
7・8	10.25	〃	〃	高齢者に関連するデータ収集の方法	〃	
9・10	11. 1	〃	〃	高齢者に関連するデータの SPSS による解析の演習	〃	
11・12	11. 8	〃	〃	高齢者を対象者にした質的研究手法を用いた文献講読（1）	〃	
13・14	11.15	〃	〃	高齢者を対象者にした質的研究手法を用いた文献講読（2）	〃	
15・16	11.22	〃	〃	認知症高齢者のケアに関する文献講読（1）	〃	
17・18	11.29	〃	〃	認知症高齢者のケアに関する文献講読（2）	〃	
19・20	12. 6	〃	〃	認知症高齢者のケアに関する文献講読（3）	〃	
21・22				家族の会例会実習	〃	
23・24				デイサービス実習（1）	〃	
25・26				デイサービス実習（2）	〃	
27・28	12.20	水	6・7	Presentation	〃	
29・30	19.1.10	〃	〃	総括	〃	

\*実習の年月日については、後日お知らせします。

参考図書：Ebersole H. & Hess Patricia. Toward Healthy Aging. Mosby, Tokyo, 1998

## 授業科目：看護研究論（2単位）

学習目標：看護研究における研究計画書、質的研究と量的研究のそれぞれに対応した研究デザイン、方法論、文献等の評価、英文論文査読などを通して論文作成の基礎について教授します。

講義回数	年月日	曜	時限	テーマ	担当教員
1	18.4.20	木	6	1) 看護研究序論：①看護研究の定義、 ②研究プロセスの概観	藤田倫子
2	4.27	〃	〃	2) 研究プロセス：①課題選択・問題設定、② 文献レビュー、③理論的枠組み、④研究 デザイン、	同上
3	5.11	〃	〃	⑤母集団・標本、⑥測定とデータ収集、 ⑦データ解析、⑧研究結果の解釈	同上
4	5.18	〃	〃	3) 研究過程コミュニケーション：①研究報告書、 ②研究報告の評価、③)研究計画書作成	同上
5	5.25	〃	〃	4) 研究計画書作成（演習）	同上
6	6.1	〃	〃	1) 質的研究とは何かーその意義、歴史、特徴	軸丸清子
7	6.8	〃	〃	2) 質的研究のさまざまなアプローチ／研究 におけるサンプリング戦略、	同上
8	6.15	〃	〃	3) 口頭データ：半構造化インタビュー／デー タとしてのナラティブ／フォーカス・グルー プ・インタビューとディスカッション／口 頭データ収集法  視覚データ：観察／エスノグラフィー／視覚 データ法／視覚データ収集法	同上

9		〃	〃	4) データの文書化／コード化とカテゴリー化／質的研究の執筆	同上
10		〃	〃	1) 英文看護論文査読（質的研究手法）	吾妻 健
11		〃	〃	同上（問題の所在、文献レビュー、研究方法）	同上
12		〃	〃	同上（研究結果、考察）	同上
13		〃	〃	2) 英文看護論文査読（量的研究手法）	同上
14		〃	〃	同上（問題の所在、文献レビュー、研究方法）	同上
15		〃	〃	同上（研究結果、考察）	同上

注 1) 3人の教員による omnibus ですから、それぞれの担当教員との初回授業前  
確認（授業日時、教室、使用教材など）をしてください。

2) 藤田倫子授業担当の連絡です。

① 使用教科書： Denise F. Polit Bernadette P. Hungler 近藤潤子監訳  
NURSING RESEARCH Principles and Methods 看護研究 原理と方法 医学  
書院 2002.11

② 教室：成人看護学共同研究室（7F）

## 授業科目：看護理論（2単位）

- 学習目標
- \*看護学における看護理論の位置づけを学び、これまでに開発された諸理論について理解する。
  - \*看護理論の歴史について、概説するとともに看護実践の具体的事例を上げ、理論との関与について理解する。
  - \*看護実践の中で応用可能な中範囲理論と基礎となる広範囲理論の概念について理解し、活用法について検討する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.6.19	月	6	1) 看護理論入門：① 看護の知のパターン、 ② 経験の表現としての看護理論	藤田倫子	成人看護学共同研究室看護学講座（7階） ・基礎看護学共同研究室（3階）
2	〃	〃	7	③ 看護理論の歴史、④ 看護理論の 概念、⑤ 看護理論の記述	同上	
3	7.3	〃	6	2) 看護理論：①看護哲学、② 広範囲看護 理論、	同上	
4	〃	〃	7	③presentation、discussion、lecture	同上	
5	7.10	〃	6	3) 看護理論：① 中範囲看護理論、	同上	
6	〃	〃	7	②presentation、discussion、lecture	同上	
7	7.24	〃	6	3) 看護理論：① 中範囲看護理論	同上	
8	〃	〃	7	② presentation、discussion、lecture	同上	
9	7.31	〃	6	4) 理論分析	高橋永子	
10	〃	〃	7	同上	同上	
11	9.4	〃	6	5) 概念分析	同上	
12	〃	〃	7	同上	同上	
13	9.11	〃	6	6) presentation、	同上	
14	〃	〃	7	presentation、	同上	
15	9.25	〃	6	まとめ	同上	

\*使用教科書

Ann Marriner-Tomey 都留伸子監訳 Nursing Theorists and Their Work 看護理論家とその業績 第3版 医学書院 2002.11

\*参考図書

Julia B. George 南裕子・野嶋佐由美・近藤房恵訳 NURSING THEORIES The Base for Professional Nursing Practice 看護理論集 より高度な看護実践のために 日本看護協会出版会 1998

## 授業科目：看護倫理（2単位）

学習目標：看護実践において直面する倫理問題について、看護倫理とバイオエシックスの側面から、その歴史について教授する。更に、文献を検討しながら、看護・保健医療の場における倫理の実践とその問題について議論し、看護実践者の倫理的責務を教授する。

講義回数	時限	テーマ	担当教員	場所
1	3・4	「倫理」の概念と医療医倫理	(阿部眞司)	老年看護学共同研究室 6階
2	〃	看護とナイチンゲール、看護職者としての倫理	片岡万里	
3	〃	研究論文の講読・発表	〃	
4	〃	看護専門職における実践現場の倫理的問題	〃	
5	〃	医療従事者の権利と擁護及びその各種倫理規定	〃	
6	〃	看護の対象者の場における倫理的課題と看護職者の役割	〃	
7	〃	発表	〃	

\*年月日・曜日については、事前にお知らせします。

### テキスト

日本看護協会編：平成15年版 看護白書、p.3-93,p217-235, 日本看護協会出版会、2003

### 参考文献

- 1) マーティン・ベンジャミン、ジョイ・カーティス著：矢次正利他訳：臨床看護のディレンマ（1）、時空出版、2000〔高谷〕
- 2) マーティン・ベンジャミン、ジョイ・カーティス著：矢次正利他訳：臨床看護のディレンマ（2）  
生命倫理と医療経済・医療制度、時空出版、2000

## 授業科目：健康情報論（2単位）

学習目標：保健・医療の分野における情報化の状況を把握する。

保健・医療の分野における情報化に必要な要素を理解する。

保健・医療の分野における IT 活用の視点を理解する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.4.20	木	7	求められる保健・医療の情報化	栗原幸男	看護学科棟保健指導室（2F）
2	18.4.27	〃	〃	〃	〃	
3	18.5.11	〃	〃	電子カルテの現状	〃	
4	18.5.18	〃	〃	標準コード	〃	
5	18.5.25	〃	〃	保健・医療での情報化の手順	〃	
6	18.6.1	〃	〃	保健・医療の情報システム評価	〃	
7	18.6.8.	〃	〃	〃	〃	
8	18.6.15	〃	〃	看護用語標準化と看護記録システム	(石垣恭子)	
9	18.6.22	〃	〃	医療データベースの活用	栗原幸男	
10	18.6.29	〃	〃	〃	〃	
11	18.7.6	〃	〃	デジタル通信の活用	〃	
12	18.7.13	〃	〃	マルチメディアの活用	〃	
13	18.7.20	〃	〃	看護教育でのコンピュータ活用	〃	
14	18.7.27	〃	〃	AI 活用の可能性と課題	〃	
15	18.8.3	〃	〃	総括	〃	

## 授業科目：保健統計論（2単位）

- 学習目標：1) 看護研究を実際に行って収集されたデータの特性について学習する。
- 2) 母集団から抽出された標本データから母集団の特性を推定するために、平均値等の集団の特性値及びその検定手法、比率の検定手法を理解する。
- 3) 看護研究でしばしば用いられる調査票を用いた手法について、社会調査論の立場から実施手技について理解し、得られたデータの収集・解析・評価の実際を学習する。
- 4) 人間の健康や障害に係わる事象と影響する要因との因果関係を推定するための統計手法（二次クロス・三次クロス・多変量解析）を実際にSPSS統計パッケージを用いて学習する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.10.2	月	6・7	保健統計学①データの取扱い	吾妻 健	地域看護学講座・地域看護学 共同研究室（4階）
2	10.16	〃	〃	保健統計学②比率の比較検定	〃	
3	10.30	〃	〃	保健統計学③平均値の比較検定	〃	
4	11.13	〃	〃	社会調査と生物統計学	高尾俊弘	
5	11.27	〃	〃	実際の調査研究データの集計評価	〃	
6	12.11	〃	〃	因果関係の推定と保健統計学の手法	〃	
7	18.1.22	〃	〃	まとめ	〃	

## 授業科目：健康環境論（2単位）

- 学習目標：1) 人間の健康に影響を与える環境要因に対する基本的視座を学び、疾病や障害の発生するメカニズムを理解する。
- 2) 環境要因の中でも代表的な物理的要因・化学的要因・生物学的要因が人間の健康に与える影響を学習する。
- 3) 環境要因の人体への曝露に関する定量化手法を学び、疾病や異常を引き起こす許容限界の考え方を理解する。
- 4) 生物学的要因を例にとり、医療・看護における有害要因のマネジメント、リスクコミュニケーションの実際を数名のグループに分かれて検討し、各グループの考えをプレゼンテーションする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.10.23	月	6・7	環境要因概説	高尾俊弘	地域看護学講座・地域看護学 共同研究室（4階）
2	11.6	〃	〃	物理的環境要因と健康	〃	
3	11.20	〃	〃	化学的環境要因と健康	〃	
4	12.4	〃	〃	生物学的環境要因と健康	〃	
5	19.1.15	〃	〃	リスクアセスメントとリスクコミュニケーション	〃	
6	1.29	〃	〃	グループワーク	〃	
7	2.5	〃	〃	まとめ	〃	